

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成21年3月26日(2009.3.26)

【公開番号】特開2007-234555(P2007-234555A)

【公開日】平成19年9月13日(2007.9.13)

【年通号数】公開・登録公報2007-035

【出願番号】特願2006-58258(P2006-58258)

【国際特許分類】

H 05 B	33/26	(2006.01)
H 05 B	33/14	(2006.01)
F 21 S	2/00	(2006.01)
G 09 F	9/30	(2006.01)
H 01 L	27/32	(2006.01)
F 21 Y	105/00	(2006.01)

【F I】

H 05 B	33/26	Z
H 05 B	33/14	Z
F 21 S	1/00	E
G 09 F	9/30	3 6 5 Z
F 21 Y	105:00	

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月6日(2009.2.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも一層の発光層を有する発光ユニットが、第1の電極と第2の電極の間に複数個直列に接続され、該直列接続している一の発光ユニットと他の発光ユニットとの間に中間導電層が設けられた発光セルを複数有し、

一の発光セルの第1の電極および他の発光セルの第2の電極と接触する第3の電極とを有することを特徴とする照明装置。

【請求項2】

少なくとも一層の発光層を有する発光ユニットが、第1の電極と第2の電極の間に複数個直列に接続され、該直列接続している一の発光ユニットと他の発光ユニットとの間に中間導電層が設けられた発光セルを複数有し、

前記発光ユニット、前記中間導電層、及び第2の電極を貫通する開口部と、

一の発光セルの第2の電極上及び前記開口部の側面を被覆して、一の発光セルの第1の電極を露出させる層間絶縁層と、

前記層間絶縁層上に形成され、前記開口部を介して前記一の発光セルの第1の電極および他の発光セルの第2の電極と接触する第3の電極とを有することを特徴とする照明装置。

【請求項3】

請求項1または2において、前記第1の電極は透明導電膜からなり、第2の電極および第3の電極は金属膜からなることを特徴とする照明装置。